

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道9号 北条道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	白：鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 至：鳥取県東伯郡琴浦町槻下				延長	13.5km
事業概要	一般国道9号は京都府京都市から山口県下関市に至る総延長約751kmの主要幹線道路である。 北条道路は、湯梨浜町はわい長瀬から琴浦町槻下に至る延長13.5kmの道路である。 事業目的は、道路の適正な機能分担による安全性の向上、観光地の活性化や企業進出の促進、救急医療アクセスの強化である。					
	H29年度事業化	H28年度都市計画決定	R2年度用地着手	H30年度工事着手		
全体事業費	約524億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)	20%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	21,700 ~ 28,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	(3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年	
	1.3 (1.3)		376 / 487 億円 事業費 : 328/440億円 維持管理費 : 48/ 48億円	645 / 645億円 走行時間短縮便益 : 448/448億円 走行費用減少便益 : 144/144億円 交通事故減少便益 : 53/ 53億円	令和3年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量 : B/C=1.2~1.4(交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.6~1.8(交通量±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4(事業費±10%) 事業費 : B/C=1.6~1.9(事業費±10%) 事業期間 : B/C=1.3~1.4(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=1.6~1.8(事業期間±20%)					
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失の削減が期待される ・バス路線（福岡～米子・倉吉・鳥取線、出雲鳥取線）の利便性向上が期待される ・琴浦町から倉吉駅（特急停車駅）へのアクセス向上が期待される ・湯梨浜町から米子鬼太郎空港（共用空港）へのアクセス向上が期待される ②物流効率化の支援 ・湯梨浜町から境港（重要港湾）までのアクセス向上が期待される ③国土・地域ネットワークの構築 ・高規格道路「山陰自動車道」に並行する自動車専用道路の一部として位置づけ ・隣接した日常活動圏中心都市間（鳥取市～米子市間）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市（倉吉市）へのアクセス向上が見込まれる ④個性ある地域の形成 ・主要な観光地（白壁土蔵群）へのアクセス向上が期待される【R2観光入込客数：44万人（白壁土蔵群）】 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次救急医療機関（鳥取県立中央病院、鳥取大学医学部附属病院）へのアクセス向上が期待される ⑥災害への備え ・第1次緊急輸送道路である国道9号の代替路線を形成 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される ⑧生活環境の改善・保全 ・NOx排出量の削減が期待される ・SPM排出量の削減が期待される ⑨他のプロジェクトとの関係 ・大規模事業（一般国道313号（北条倉吉道路（延伸）））と一体的に整備する必要がある ・「鳥取県の将来ビジョン（R2.10）」「ことうらまちづくりビジョン（H29.3）」「第2次北栄町まちづくりビジョン（R2.9）」「第4次湯梨浜町総合計画」（令和3年3月）に位置づけられている					

関係する地方公共団体等の意見

「一般国道9号 北条道路」の事業「継続」という対応方針（原案）について異存ありません。  
 「一般国道9号 北条道路」は、日本海国土軸の一部を形成し国土強靱化に資するとともに、人流・物流を活性化し当県の産業活動及び広域観光に大きく寄与する重要な社会インフラであることから、事業の「継続」について異存ありません。  
 平成28年10月に発生した鳥取県中部地震では被災地の復旧・復興を支える高速道路ネットワーク整備の必要性を改めて認識したところであり、地元自治体が一体となって事業進捗に向けた地元調整や埋蔵文化財調査等の協力を行ってまいります。当該事業について、令和8年度開通が公表されているところですが、コスト縮減を図りつつ一日も早い供用開始にご尽力をいただきますようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ H31年4月に湯梨浜地区交差点立体化区間が完成。
- ・ H31年4月に琴の浦ICが開通。
- ・ R元年5月に鳥取西道路が全線開通。
- ・ R元年度に北条道路に接続が予定されている国道179号はわいバイパス、主要地方道倉吉由良線が事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和3年3月末時点で、事業全体の進捗率は20%、用地の進捗率は83%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

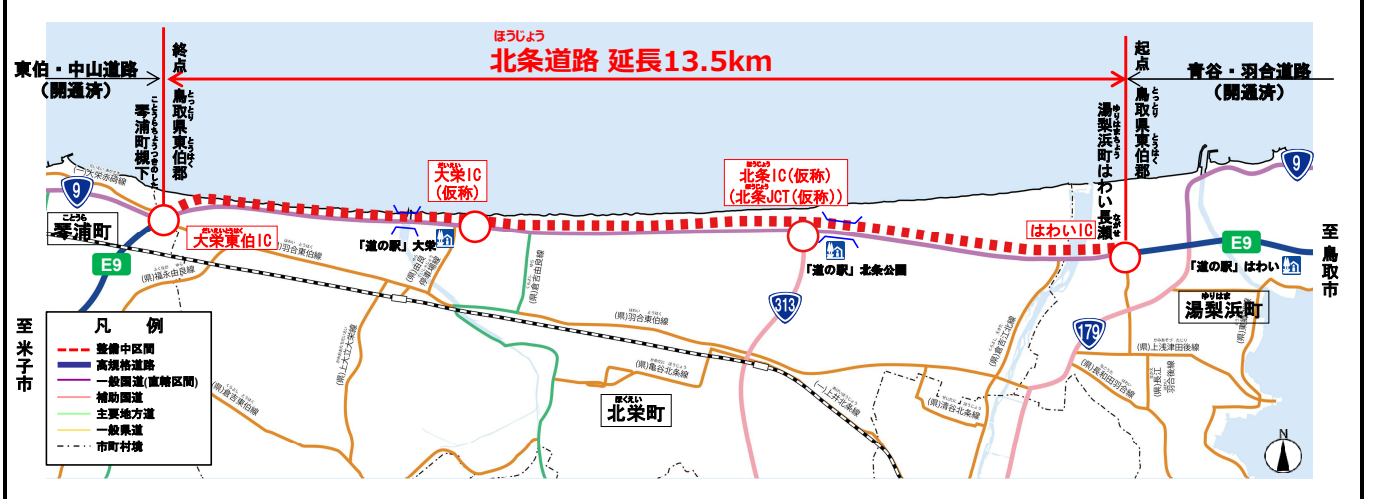
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。